



環境活動レポート 2014

対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

株式会社 D I N S 堺

発行日：2014年6月1日

INDEX

1. ごあいさつ
2. 組織の概要
 - 1) 事業者及び代表者氏名
 - 2) 所在地
 - 3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 4) 事業年度及び取組期間
 - 5) 事業活動の内容
 - 6) 事業規模等
 - 7) 施設概要
 - 8) 許可内容
 - 9) 許可品目
 - 10) 環境関連資格保有者
3. 対象範囲（認証・登録範囲）
4. 環境方針
5. 環境体制
6. 環境目標およびその実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果
10. 環境活動のあしあと
11. 終わりにあたって

RAC事業所



バイオエタノール事業所



1) ごあいさつ

今年度は、RAC事業所、バイオエタノール事業所の各々で認証取得していたエコアクション21を統合し、株式会社DINS堺としてはじめて環境活動に取り組みました。

ふたつの事業所をひとつにすることは簡単なことではないとある程度想像していましたが、今まで当たり前のようにやってきた環境活動や委員会でさえも当初は中々うまく推進せず、事務局を中心にみんなで試行錯誤を繰り返した一年でした。

今では少しずつですが各々が楽しんで環境活動に取り組めるようになって参りました。

今後、DINS堺として環境活動を推進する中で大きな課題があります。まず第一に、全員参加型の活動を行うことで、ふたつの事業所がひとつの目標に向かって取り組める環境づくりを行います。

エコアクション21の環境経営プログラムをエンジンにして『全員が積極的に環境活動に参加する仕組み作り』を合言葉にドンドンと推進して行くため、これからも楽しく活動していく所存でございます。

この環境活動レポートは平成25年4月から平成26年3月までの取組成果をまとめたものです。是非とも成果をご高覧頂き、今後とも更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社DINS堺
代表取締役
植阪 良樹



2) 組織の概要

取組の対象組織・活動の明確化

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社DINS堺

代表取締役 植阪 良樹

2) 所在地

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町四丁2番3号（RAC事業所 本社）

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町四丁2番7号（バイオエタノール事業所）

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

◆ 環境管理責任者 下地 正勝

◆ EA21事務局 大脇 宏一郎・柳 昌秀

◆ 連絡先 TEL 072(245)7777

FAX 072(245)7930

URL http://dinsgr.co.jp/dins_sakai/

4) 事業年度及び取組期間

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日

今回の取組期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日

5) 事業活動の内容

- ◆ 産業廃棄物の収集運搬業（積替え・保管を含む）
- ◆ 産業廃棄物の中間処理（破碎・選別）
- ◆ 一般廃棄物の中間処理（選別・破碎）
- ◆ 産業廃棄物の中間処理（破碎・焼却・加水分解・発酵・蒸留）
- ◆ 一般廃棄物の中間処理（破碎・エタノール発酵）
- ◆ 廃木材等からの燃料用バイオエタノールの製造

6) 事業規模等

- (1) 創立 平成16年3月25日
- (2) 資本金 96,000千円
- (3) 従業員数 75人
- (4) 事業推移 事業推移一覧参照

◆事業推移一覧

項目	単位	事業所	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	百万円	RAC	1,000	1,471	1,635
		バイオ	369		
従業員数	人	RAC	47	73	75
		バイオ	28		
敷地面積	㎡	RAC	24,013.00	38,459.76	38,459.76
		バイオ	14,446.76		
建築面積	㎡	RAC	11,004.00	13,634.55	13,634.55
		バイオ	2,630.55		
延床面積	㎡	RAC	19,585.00	22,215.55	22,215.55
		バイオ	2,630.55		
取扱い産業廃棄物量	t	RAC	58,933	95,459	115,208
		バイオ	24,779		
取扱い一般廃棄物量	t	RAC	3,500	10,315	8,122
		バイオ	3,637		

※平成24年度よりRAC事業所とバイオエタノール事業所合算値

エコ豆知識

ゴミを減らす4つのR(アール)とは？

- 1) リデュース (Reduce) 『ごみを出す量を減らす』
- 2) リユース (Reuse) 『再利用する、繰り返し使う』
- 3) リサイクル (Recycle) 『再生して利用する』
- 4) リフューズ (Refuse) 『拒否する、ごみになるものは買わない』



の4つです。
この4つのRをキーワードにして資源の無駄遣いを減らし、ごみを減らすことになります。

2) 組織の概要

7) 施設概要

◆収集運搬車両の概要

車両形式	台数	最大積載量 (kg)	環境保全対策
4tコンテナ車	1	3,850	シート掛け
8tコンテナ車	1	7,800	シート掛け
10tコンテナ車	2	11,100	シート掛け
		10,400	



4tコンテナ車



8tコンテナ車



10tコンテナ車



10tコンテナ車

◆重機の概要

車両形式	クラス	台数
ユンボ	0.7クラス	2台
	0.45クラス	5台
ショベルローダー	2m ³ クラス	2台
	4m ³ クラス	2台
フォークリフト	3tクラス	3台

◆施設の概要

(RAC事業所)		
	産業廃棄物	一般廃棄物
処理施設の 種類	① 破碎・選別施設 ② 破碎施設 (廃プラスチック類専用二軸破碎機)	木質系廃棄物の破碎施設
処理能力	① 500t/日(11 時間) ② 28.93/日(11 時間)	50t/日
廃棄物の 種類	廃プラスチック類紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず がれき類 ※石綿含有産業廃棄物を除く (以上8種類)	木質系廃棄物 (事業系一般廃棄物であって、 再生利用できるものに限る。)
(バイオエタノール事業所)		
	産業廃棄物/一般廃棄物	
処理施設の 種類	① 加水分解施設 (エタノール製造施設の一部) ② 焼却施設 (汚泥については、場内発生汚泥に限る。) ③ 破碎施設 (加水分解設備・焼却施設の前処理設備) ④ 汚泥の脱水施設 (汚泥については、場内発生汚泥に限る。) ⑤ 汚泥の乾燥施設 (汚泥については、場内発生汚泥に限る。) ⑥ 発酵施設 (エタノール製造施設の一部) ⑦ 蒸留施設 (エタノール製造施設の一部)	
処理能力	① 紙くず・木くず72.0t/日(24時間)、動植物性残渣5.0t/日(24時間) ② 汚泥67.9t/日(24時間)、その他の産業廃棄物86.0t/日(24時間) ③ 木くず180t/日(9時間) ④ 汚泥186m ³ /日(24時間) ⑤ 汚泥186m ³ /日(24時間) ⑥ 廃酸・廃アルカリ98m ³ /日(24時間)、動植物性残さ5t/日(24時間) ⑦ 廃油・廃酸・廃アルカリ336m ³ /日	
廃棄物の 種類	紙くず 木くず 動植物性残さ 廃油 廃酸 廃アルカリ ※石綿含有産業廃棄物を除く (以上 6 種類)	
(積替え・保管施設)		
施設面積	75.0m ² (積替え施設 50.0m ² 保管施設 25.0m ²)	
保管上限	75.0m ³ ※屋内保管	
産業廃棄 物の種類	廃プラスチック類・ガラスくず・がれき類 ※石綿含有産業廃棄物に限る(以上3種類)	

2) 組織の概要

8) 許可内容

管轄	積替え保管	有効期限	業の種類	許可番号
		(許可取得年月日)		
堺市		平成29年1月14日	産業廃棄物処分業	第06720133027号
		(平成19年1月15日)		
		平成27年1月14日	一般廃棄物処分業	第A-2号
		(平成19年1月15日)		
大阪府	有	平成29年9月20日	産業廃棄物収集運搬業	第06710133027号
		(平成24年9月21日)		
兵庫県	無	平成28年9月15日	産業廃棄物収集運搬業	第02700133027号
		(平成23年9月16日)		
三重県	無	平成28年8月24日	産業廃棄物収集運搬業	第02805133027号
		(平成23年8月25日)		
三重県	無	平成28年9月25日	産業廃棄物収集運搬業	第02400133027号
		(平成23年9月26日)		

9) 許可品目

許可品目/業の種類		収集運搬				中間処理
		堺市	大阪府	兵庫県	三重県	堺市
産業廃棄物	燃え殻	●	●	●	●	
	ばいじん	●	●	●	●	
	汚泥	●	●	●	●	
	廃油	●	●			●
	廃酸	●	●			●
	廃アルカリ	●	●			●
	木くず	●	●	●	●	●
	紙くず	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	○	●	●	●	●
	繊維くず	●	●	●	●	●
	ゴムくず	●	●	●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●
	ガラスくず	○	●			●
	ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず			●	●	
	動植物性残さ	●	●			
	がれき類	○	●	●	●	●
※○は積替保管許可を有する						
一般廃棄物	木質系廃棄物 (事業系一般廃棄物であって再生利用できるものに限る)					●
	紙屑 (事業系一般廃棄物であって再生利用できるものに限る)					●

エコ豆知識

掃除をこまめに

エアコンのフィルターにほこりが詰まると、1シーズンで5～10%効率が下がります。

こまめに掃除をするだけでも省エネ・地球温暖化防止につながります。



10) 環境関連資格保有者

資格名	人数
特別管理産業廃棄物処分量の許可申請講習終了	2名
産業廃棄物破碎・リサイクル施設技術管理士	4名
産業廃棄物焼却施設技術管理士	2名
産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1名
廃棄物管理士	7名
公害防止管理者(水質第1種)	1名
防火管理者(甲種)	4名
危険物取扱者(甲種)	1名
危険物取扱者(乙4類)	11名
衛生管理者(第1種)	2名
ボイラータービン主任技術者	2名
ボイラー技士(1級)	5名
臭気判定士	1名
環境社会検定(ECO検定)	4名

エコ豆知識

エコキャンドルを作ってみませんか？

使用済みの天ぷら油や、うっかり賞味期限が切れてしまった調理油をリサイクルして、エコキャンドルづくりにチャレンジしてみませんか。スイーツが入っていたガラスの器などを利用すれば、捨ててしまうはずの油と容器がおしゃれなキャンドルに大変身！ほのかな明かりがお部屋を照らし出し、安らかなムードを演出してくれることでしょう。



3) 対象範囲（認証・登録範囲）

1) 認証・登録事業者

株式会社 DINS堺

2) 事業活動の対象範囲

産業廃棄物の中間処理（破碎・選別・焼却・加水分解・発酵・蒸留）

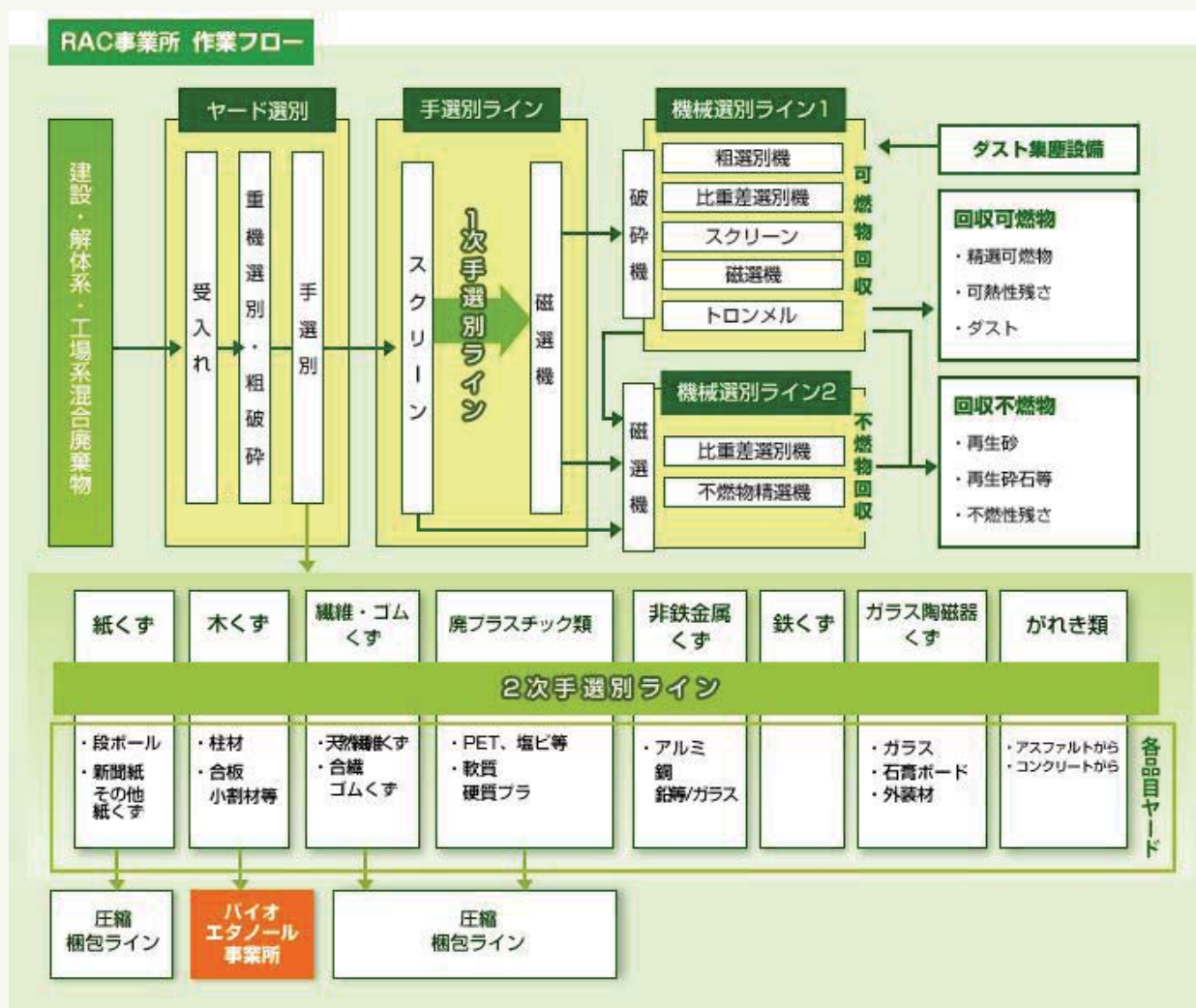
一般廃棄物の中間処理（選別・破碎・焼却・エタノール発酵）

廃木材から燃料用バイオエタノールの製造

対象事業所：RAC事業所、バイオエタノール事業所

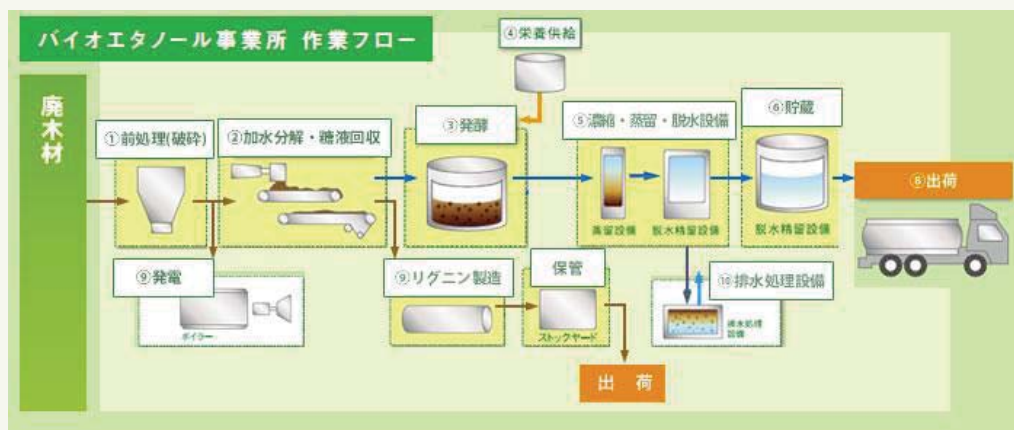
3) ①RAC事業所 処理フロー

11,000㎡の広さを持つ建屋内では、主に混合廃棄物の破碎と選別、廃プラスチックの圧縮・破碎・梱包、紙くずなどの可燃性廃棄物の圧縮・梱包の三つの処理を実施。選別ヤードをはじめ、設備全体を屋内に配置することで、周辺への環境面にも配慮しています。



3) ②バイオエタノール事業所 処理フロー

原料の受け入れから出荷まで徹底した品質管理を行っています。またプラント内で使用する蒸気や電気などのすべてバイオマス燃料で賄うなど、製造過程でも環境保全に貢献しています。



エタノール原料用とボイラー燃料用に選別された廃木材を、破碎機を使って細かいチップに粉砕し、各工程に送ります。



エタノール原料用チップを糖とリグニンに分解し、その分解液から糖液を分離回収した後、中和して発酵層へ送ります。



木質系バイオマスの糖液に最新のバイオ技術を活用した「KO-11」と呼ばれる遺伝子組み替え菌（エタノール発酵菌）を加えて発酵させます。



エタノールが生成された発酵液を濃縮・蒸留・脱水という操作を行うことによって、ガソリンに混合できる濃度まで濃縮し、製品エタノールをつくります。



製品エタノールを貯蔵します。窒素バージで保管することにより酸化、外部からの異物及び水分の混入を防いでいます。



製品エタノールは、ポンプを使ってタンクローリー車に積み込み出荷します。



加水分解設備で発生したリグニン（残渣）は、適切な水分調整を行い、バイオマス燃料として出荷しています。



前処理設備のチップサイロからコンベアで運ばれたボイラー燃料チップを燃焼し、蒸気を生じさせ工場内で利用するとともに発電機で電気に変換し使用しています。



4) 環境方針

環 境 方 針

1. 環境関連法規、地域の条例・協定を遵守し、地域社会と共に事業を展開していきます。
2. 電気、化石燃料の有効利用を積極的に行い、CO₂の削減を推進します。
3. 事務所の廃棄物削減・リサイクルに努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 受託業務において、リサイクルをベースに廃棄物の適正処理・減量化に努めます。
6. 廃棄物処理及びエタノール製造時の化学物質の使用量削減に努めます。
7. グリーン購入を積極的行います。
8. 環境方針を、当社及び当社に関係して働く人々に周知し、積極的に取り組み社内外に公開します。

制定：平成25年4月1日

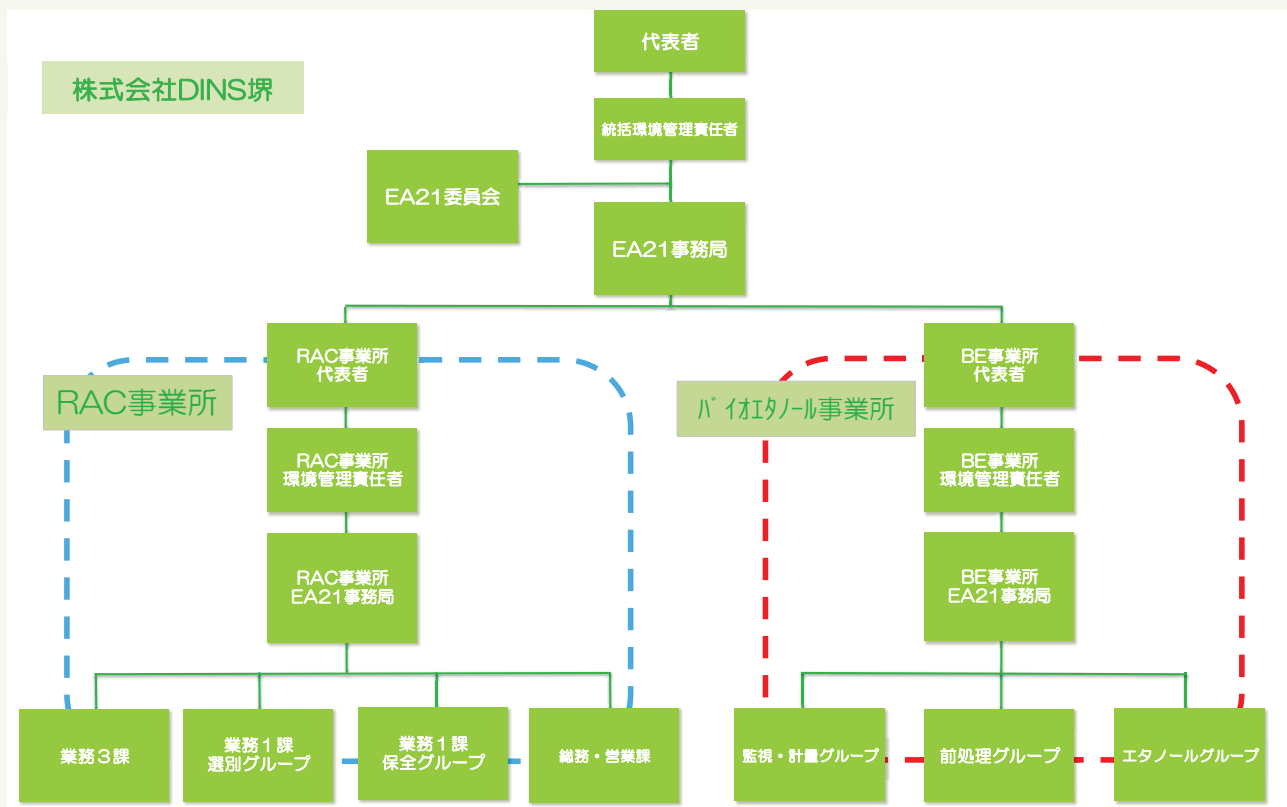
株式会社 DINS堺

代表取締役

植阪 良樹

5) 環境体制

環境体制組織図



株式会社DINS堺では、毎月1度『EA21委員会』が開催され、環境活動の進捗確認を行い、周知徹底に努めています。



EA21委員会

6) 環境目標及びその実績

二酸化炭素排出量の削減、総排水量削減、廃棄物排出量削減、グリーン購入推進、製品、サービスの向上を目的として取り組みました。

【環境目標】		基準年度	平成25年度			中長期の目標			
		基準値	目標値	実績	達成率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
二酸化炭素排出量削減	TOTAL (kg-CO2)	1,635,542	1,620,551	1,541,424	109%	1,679,345	1,675,576	1,671,886	
	【社有車の経済的運転 ガソリン】	平成24年度			○	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	
	(kg-CO2)	3,555	3,551	3,185	111%	3,548	3,544	3,540	
	【社有車の経済的運転 軽油】	平成24年度			○	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	
	(kg-CO2)	239,683	239,442	200,901	119%	239,203	238,964	238,725	
	【重機の経済的運転 重油】※	平成25年度			○	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	
総排水量削減	(kg-CO2)	505,353	440,342	433,828	102%	500,299	497,773	495,246	
	【電気使用量の削減】	平成24年度			○	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	
	(kg-CO2)	886,951	937,216	903,510	104%	936,295	935,295	934,375	
	TOTAL (m³)	72,137.00	71,776.60	68,216.69	104%	71,415.43	71,055.14	70,693.86	
	【工水使用量の削減】	平成24年度			○	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	
	(m³)	69,657.00	69,308.60	65,807.69	105%	68,960.43	68,612.14	68,263.86	
	【上水使用量の削減】	平成24年度			○	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	
	(m³)	2,480	2,468	2,409	102%	2,455	2,443	2,430	
	廃棄物排出量抑制	【リサイクル率の向上】※	平成25年度			○			
		(リサイクル率%以上)	31.2%	31.3%	34.7%	111%	31.4%以上	31.5%以上	31.6%以上
【事業系一般廃棄物の削減】		平成24年度			○	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	
グリーン購入	廃棄物排出量 (kg)	2,931.6	2,916.9	2910.8	100%	2,902.3	2887.6	2872.9	
	【グリーン購入の推進】	平成24年度			○	0.2%向上	0.3%向上	0.4%向上	
化学物質削減	対象品購入比率	67.8%	67.9%	68.2%	100%	68.0%以上	68.1%以上	68.2%以上	
	【化学物質使用量削減】	平成24年度			○	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	
製品・サービス	使用量合算ポイント (P)	211,336.56	211,125.22	191,107.94	110%	210,913.88	210,702.55	210,491.21	
	【清掃・地域貢献の促進】	平成24年度			○	1回向上	2回向上	3回向上	
	クリーンDAY開催回数 (回)	57	58	58	100%	59	60	61	

※1 平成25年度目標値を見直した為、基準年度を変更しました。

※ 電力の二酸化炭素排出係数・・・0.355kg-CO₂/kWh

7) 環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減

【社有車の経済的運転 ガソリン】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 1,529.60L 内訳: RAC 399.20L BE 1,130.40L 実績値 1,371.70L 内訳: RAC 412.19L BE 959.51L 【対象乗用車 2台】	112% 	社有車の経済的運転の実施	◆ 給油量、走行距離を記録し燃料消費データを蓄積し、掲示、回覧する。 ◆ 毎月1回タイヤの空気圧の点検をする。 ◆ エコドライブに関する教育を実施する。 ◆ 5,000km毎にオイル交換(10,000km毎にエレメント交換)を徹底する。
担当者のコメントおよび、次年度の取組内容 今年度も、外部にエコドライブの講習を依頼し従業員と実地教育を行ったりと充実した環境活動となりました。 エコドライブの実施だけでなくオイル交換、空気圧点検等の車輛のメンテナンスにも力を入れ活動推進に努めてきました。 次年度は、エコカーの導入なども視野に入れて環境活動を推進するとともにより一層の車輛のメンテナンスに努めます。			
 エコドライブ講習の風景			
【社有車の経済的運転 軽油】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 91,241L 内訳: RAC 67,693L BE 23,548L 実績値 76,553L 内訳: RAC 58,119L BE 18,434L 【対象車両 6台】	133% 	社有車の経済的運転の実施	◆ 給油量、走行距離を記録し燃料消費データを蓄積し、掲示・回覧する。 ◆ デジタルタコグラフの日報評価100点満点を月に50回獲得する。 ◆ 積込重量ポイント21.60Pを目標値として、積込重量の余剰削減を行う。 ◆ 燃料使用量削減大作戦を3か月に1度実施、検証する。 ◆ 計画的な木くずの受入を行うことで無理なかき上げ作業を減らす。 ◆ 運転開始時にダイヤル設定を確認する。
担当者のコメントおよび、次年度の取組内容 デジタルタコグラフによる、エコドライブの見える化に取り組みました。1年を通してデジタルタコグラフの評価で1番の成績を収めたドライバーの表彰などやりがいのある環境活動となりました。 事業所内での乗務員によるエコドライブの推進ビラを配布するなど、自社だけでなくお客様にもエコドライブにご協力いただきました。 次年度は、目に見えるアイドリングストップを実施しながら楽しく効果のある活動を推進していきます。			
 デジタルタコグラフ累計得点の見える化			

7) 環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減

【重機の経済的運転 重油】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 162,510L 実績値 160,106L	102% 	重機の エコ運転を 周知徹底 する。	◆ 『8割くん』『5割くん』の徹底 ◆ 重機の稼働時間を下げる取り組みの計画・実施 ◆ 燃料使用量及び燃費の監視

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

昨年度と同じように燃費向上の為 『8割くん』を使用したエコ運転に加え投入作業などの動きの少ない重機には 『5割くん』を使用し燃費向上に努めることが出来た。

また、大型重機の使用を抑える為、小型重機のバケットの高上げなどを行い、燃費の向上に努めました。

次年度は、燃料使用量の「見える化」を行うことで、進捗監視、エコ意識の向上に努めます。



小型重機のバケットの高上げ

【電気使用量の削減】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 2,640,044kWh 内訳: RAC 1,840,160kWh BE 799,884kWh 実績値 2,545,099kWh 内訳: RAC 1,800,983kWh BE 744,116kWh	104% 	プラント 事務所の 電気使用量 を削減する。	◆ プラント稼働による省エネ運転の取組を行い、立案・実施・経過報告を行う。 ◆ 事務所及びプラント内で使用中の水銀灯からLEDへ変更を行う。 ◆ 『電気新聞』を作成し、掲示を行い、取組結果を従業員が周知する。 ◆ 高効率照明器具の清掃及び照度測定を実施する。(年3回) ◆ コンプレッサー更新 ◆ ボイラー用木屑の最大処理量を目指し蒸気量を増やし、発電設備の出力アップを図る。 ◆ 季節によって照明の自動点灯時間を変更し無駄な点灯時間を極力なくす。

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

今年度は、デマンド監視システムを導入し使用量の見える化や、電気新聞の掲示などで従業員の節電意識の向上に努めることが出来ました。

また、1年を通して節電パトロールを月に一度行い、朝礼時に周知を行う工夫もしました。

次年度は、事務所のLED設置の本格化や節電パトロールの活性化に努め、使用量削減に努めます。



デマンド監視システムの導入

総排水削減

【工水使用量削減】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 69,308.60m³ 内訳: RAC 1,864.60m³ BE 67,444.00m³ 実績値 65,807.69m³ 内訳: RAC 1,581.69m³ BE 64,226.00m³	102% 	雨水利用を促進する。	◆ 雨水の貯留タンクで10m³分活用する。 ◆ プラント投入口付近で散水設備の計画と実施 ◆ 機械ヤードでの工業用水使用量削減の計画と実施 ◆ 工業用水保給水が入らない様に排水処理設備の再利用水レベルを管理する。 ◆ 充填材清掃。 ◆ 清算メーターを毎日確認し、漏洩防止に努める。

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

今年度は、雨水の活用を徹底する為、一番使用頻度の多い噴霧設備に事業所内で一番大きな雨水タンクを移設し雨水の利用促進に努めました。
また、粉じん抑制の為に使用している散水設備の高圧洗浄機を増設し、直接ホースから使用していた散水を高圧洗浄機を使うことで使用水量を削減することが出来ました。

次年度は、作業環境を向上させる散水意識も向上してきた中で、新たな散水設備も設置する予定にしており、使用量を増加させずに作業環境を改善する取り組みを行います。



雨水を用いた、高圧洗浄機による散水

【上水の使用量削減】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 2,468m³ 内訳: RAC 1,008m³ BE 1,460m³ 実績値 2,409m³ 内訳: RAC 1,136m³ BE 1,273m³	102% 	①水洗トイレの節水を行う。 ②シャワー・洗濯時に節水を行う。 ③節水商品を購入し目社に合った運用方法を検討する。	◆ 水洗トイレ・手洗いの流水量を絞り、節水に取り組む。 ◆ シャワーの利用人数及び洗濯機使用状況を記録する。 ◆ 新しい節水方法を考案する。 ◆ 清算記録表で毎日の使用量の確認を行う。 ◆ 洗濯のまとめ洗いを呼びかける。 ◆ 工水や再利用水にしても問題ない場所を抽出する。

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

今年度は、洗濯の際にすすぎを減らした洗濯洗剤に従業員の意見を取り入れながら運用することが出来ました。

また、上水の使用の見える化を目的に、シャワーや洗濯で使用している上水を記録表に基づいて算出し使用量の増減の分析に役立てています。

次年度は雨水を利用し、節水が出来るものが無いかを比較検討し、使用量削減に努めます。



雨水タンクの導入を検討

7) 環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

廃棄物排出量抑制

【リサイクル率の維持】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 31.3% 実績値 34.7%	111% 	①リサイクル率の継続監視及び選別強化を行う。 ②目に見える形で、実績の発表や教育を実施する。 ③燃え殻発生率の抑制 ④ダスト発生率の抑制。	◆ RPF原料を毎月110t回収し、出荷を行う。 ※三重中央・西宮・和泉エコ・住友大阪を含む。 ◆ 『リサイクル率新聞』を作成し、掲示を行う。 ◆ 『コンガラ』抽出の取組 ◆ 12時間/1回、炉内状況を確認し灰層を管理し、未燃が出ない様に調整する。 ◆ ボイラーの定期補修を計画的に行い、炉内の燃焼面積、通風圧力を確保する。

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

今年度は、搬入量も多くリサイクル率を維持する為、混合廃棄物の中から抽出した有価物に回収目標値を設けて1年間取り組みました。

毎週の業務会議の中で進捗状況を発表したり、休憩所にホワイトボードでグラフを毎日更新し見える化に努めました。

次年度は、見える化をさらに推進するとともに業務の従業員以外にも解り易い新聞づくりにも力を入れて活動します。



リサイクル新聞

【一般廃棄物排出量抑制】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 2,916.9kg 内訳: RAC 614.5kg BE 2,302.4kg 実績値 2,910.8kg 内訳: RAC 725.8kg BE 2,185.0kg	100% 	①紙の使用量を削減する。 ②分別の意識・知識向上に努める。	◆ コピー用紙の購入枚数、使用枚数を記録する。 ◆ 一般廃棄物（分別等）のマニュアルを作成し、新入社員研修時に使用する。 ◆ 社内が発生する空缶、ペットボトル等の分別を行い売却金で社内の緑化、美化を推進する。 目標：1700kg（年間） ◆ 社内が発生する新聞紙、ダンボール紙等を集めて売却し社内の緑化、美化を推進する。 目標：280kg（年間） ◆ 裏紙をサイズ毎に分け、使いやすい状態を保つことで不要紙の活用を促進する。 ◆ 朝礼で分別の徹底を呼びかける。

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容

今年度は、分別を徹底的に行い廃棄物抑制に努めました。緑化もより一層推進することが出来るようになり、緑の豊かな事業所になってきました。

また、マニュアルを作成して新規入場者にも解り易く説明することが出来るようになり、分別の教育に役立てています。

次年度は、昨年度の活動をさらに推進しより質の高い活動が推進できるよう努めます。



分別の徹底

グリーン購入

【グリーン購入の推進】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 67.9% 実績値 68.2%	101% 	①グリーン購入対象商品に対して知識を深める。 ②新規購入（事務用品）を必要最小限に抑える。	◆ 事務用品費を対象に、グリーン購入対象物品をチェック、データを蓄積する。 ◆ グリーン購入に関する勉強会を実施する。 ◆ 場内老朽化設備にジュリプラスを代用できるか検討する。 ◆ リトレッドタイヤを使用し通常タイヤとの比較実証を行う。
担当者のコメントおよび、次年度の取組内容 今年度も引き続きグリーン購入品目をグリーン対象品にするだけでなく、無駄な事務用品を購入しないよう努めました。 また、グリーン購入の教育の為、簡単なテストを行うなど従業員が興味を持つような工夫も試行錯誤しながら活動を推進しました。 次年度は、弊社グループで製造している廃プラスチックをリサイクル製品にした『ジュリプラス』を場内設備に利用できないか検討実施しながら活動推進に努めてまいります。			
グリーン購入テストの問題と解答 グリーン購入テストの問題 1. 事務用品費を対象に、グリーン購入対象物品をチェック、データを蓄積する。 2. グリーン購入に関する勉強会を実施する。 3. 場内老朽化設備にジュリプラスを代用できるか検討する。 4. リトレッドタイヤを使用し通常タイヤとの比較実証を行う。 グリーン購入テストの解答 1. 事務用品費を対象に、グリーン購入対象物品をチェック、データを蓄積する。 2. グリーン購入に関する勉強会を実施する。 3. 場内老朽化設備にジュリプラスを代用できるか検討する。 4. リトレッドタイヤを使用し通常タイヤとの比較実証を行う。			

化学物質削減

【化学物質使用量削減】	達成率及び評価	施策	実施事項
目標値 211,125.22P 実績値 191,107.94P	110% 	①薬品が適正に使用されているか確認する。 ②メンテナンス、状況に応じたプラントの運営により薬品量の削減を図る。	◆ 積算記録表にて使用量に問題が無いか確認。朝礼で不具合があれば報告する。 ◆ 尿素ノズルの定期メンテナンスを実施し、ノズルの噴霧状態が適切な状態に保つ。
担当者のコメントおよび、次年度の取組内容 積算記録表で日別管理を行い薬品量を毎日、確認しています。本年度はバイオエタノール事業所の定期修理回数が年間4回から5回になったことによりノズル清掃の回数が増え、適正な状態で噴霧できていると考えます。 次年度は稼働日数を考慮する等、目標の設定方法を見直します。			
薬品タンクで適正に管理 			

7) 環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

製品・サービス

【清掃・地域貢献の促進】		達成率及び評価	施策	実施事項
目標値	58回	100%	①清掃活動への参加 ②地域貢献行事への参加	◆ 毎週木曜日、月末の金曜日にクリーンデーを実施する。 ◆ 地元貢献行事の開催日を朝礼や掲示板で知らせ、積極的に参加者を募集する。
実績値	58回			

担当者のコメントおよび、次年度の取組内容	
週1回のクリーンデー、月末に1回実施するクリーンデーは完全に定着した。ただしメンバーが一部のメンバーに固定されがちなので、1人でも多く参加できるようにしていきたい。 次年度は【環境ラー】と言う新たな取り組みをスタートさせるとともに、クリーンデー・地元貢献活動にも引き続き力を入れて取り組んでいく予定です。	


石津川駅周辺清掃の様子

エコ豆知識

めだかの学校はどこに？

1999年、環境庁のレッドリストにメダカが絶滅危惧I類として記載されました。

環境のデータブックに準絶滅危惧としてメダカをあげています。メダカといえば童謡にも歌われ、全国でもっとも普通にみられた代表的な小川の魚でした。どうしてメダカは減ってしまったのでしょうか。



8) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、基礎等の有無

・自社の環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間無く、訴訟もありません。

・主な環境関連法規は、下記の通りです。

法規制等の名称	該当する活動	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	●産業廃棄物処理施設設置許可(堺市)申請書提出 許可取得H16.12.21	順法
	●産業廃棄物処分業許可(堺市)申請書提出 業許可取得H24.1.16	順法
	●産業廃棄物収集運搬業許可 申請書提出 業許可取得H24.9.21(堺市) 業許可取得H23.9.16(大阪府) 業許可取得H23.8.25(兵庫県) 業許可取得H23.9.26(三重県)	順法
	●一般廃棄物処分業許可(堺市)申請書提出 業許可取得H19.1.15	順法
浄化槽法	●水質検査(pH、DO、残留塩素濃度、透視度、BOD) 1年以内毎に実施	順法
計量法	●計量法に基づく計量器の法的定期検査:2年毎に実施 ●計量証明事業者報告:毎年4月提出	順法
消防法	●防火対象物に設けられている消防設備等 消火器機、火災報知設備(消防機関通報用)誘導灯、誘導標識 外観及び機能点検:6ヶ月毎に実施	順法
	●防火対象物に設けられている消防設備等 屋内消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備 外観及び機能点検:6ヶ月毎に実施 総合点検(配線を含む):毎年実施	順法
建築基準法	●昇降機で、特定行政庁が指定するもの 定期検査:1年毎に実施(堺市へ報告) 定期点検:概ね1ヶ月毎に実施	順法
電気事業法	●自家用電気工作物 精密点検:3年毎に実施 年次点検:1年毎に実施 月例点検:1月毎に実施	順法
大阪府条例	●大阪府では、排ガス基準を満たさないトラック・バス等の流入車規制を実施する。	順法
オフロード法	●平成18年10月以降に製作された重機等に規制の為、新車導入時に同法に適合した重機等を導入する。	順法
フロン回収破壊法	●大気排出防止の為、廃棄時にオゾン回収登録業者を選定	順法
騒音・振動規制法	●同法対象地域規制外	順法
大気汚染防止法	●ばい煙発生施設設置届出	順法

9) 代表者による全体評価と見直しの結果

見直しに必要な情報	代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案	変更の必要性の有無・指示事項
【取り組み状況の評価結果】 昨年度より引き続き合同で委員会を実施。 環境活動計画に関しては経験や失敗を生かして実施事項を一つ一つ確実に取り組む体制を作り委員会で確認作業を行う。 電気新聞を発行したり掲示物を増やすことで『見える化』を行い従業員に周知を進めている。	【環境方針】 変更の必要性: ☐有 ☒無 環境方針は変更しない。(事業内容に変更点がないため)
【目標・環境活動計画の達成状況】 実施している環境活動計画(11項目) ・車両、重機の経済的運転 ・グリーン購入の推進 ・電気使用量の削減 ・工業用水の使用量の削減 ・上水の使用量の削減 ・リサイクル率の維持 ・廃棄物の抑制 ・化学物質の削減 ・清掃活動地域貢献 以上 11項目目標達成	【目標・活動計画】 変更の必要性: ☒有 ☐無
【目標・環境活動計画の達成状況】 実施している環境活動計画(11項目) ・車両、重機の経済的運転 ・グリーン購入の推進 ・電気使用量の削減 ・工業用水の使用量の削減 ・上水の使用量の削減 ・リサイクル率の維持 ・廃棄物の抑制 ・化学物質の削減 ・清掃活動地域貢献 以上 11項目目標達成	①目標値の設定、削減率については統一すること。 ②活動を一体化して進められる取り組みはないか再度確認すること。 ③地域貢献、清掃活動への参加者を増やすこと。
＜改善への提案＞ RAC事業所の環境活動の実施事項を参考にしてBE事業所は活動を行うこと。	【その他】 変更の必要性: ☒有 ☐無
【周囲の変化の状況】 ①環境関連法規制等の動向他 ・法改正情報を入手しこれに対応して活動すること。 ②節電について ・原発の稼働が止まっており関西電力からも毎夏、冬に節電を要請される。節電の仕組みを構築すること。 ＜改善への提案＞ ・環境関連法令等の最新情報の収集を行うため大栄環境グループ環境事務局会議に参加する。	・平成26年度の教育訓練計画書を早期に作成掲示し、毎月初めの朝礼で今月の環境教育訓練の担当者を確認し、スケジュール表に記載すること。
代表者が自ら得た情報	【総括】 (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)
・特になし	弊社代表者である私が、全体の取り組み状況を評価し、全般的な見直しを行った。 (1)環境方針について 環境方針は変更しない。(事業内容に変更点がないため) (2)目標・環境活動計画について 数値目標を掲げるにより省エネ意識が浸透している。 毎年スパラルアップを出来るように取り組んで行くこと。 バイオエタノール事業所はエコアクションの取り組みで先行するRAC事業所の取り組みを参考にする。 (3)環境活動報告について 特に変更の必要はない。教育訓練を充実させ継続してシステムを推進していくこと。

実施日：平成26年4月1日

出席者：代表者、環境管理責任者、EA21事務局

10) 環境活動のあしあと

昨年度の我々の環境活動の一部をご紹介します。
各担当を中心に従業員一丸となった成果です。次回のレポートにも、皆様の興味を引くような楽しい活動を掲載するため、環境活動に努めます。

積替え保管施設の業許可取得

平成26年度の7月より、新たに株式会社DINS堺に積替え保管施設が完成予定となりました。

保管容量は5,899m³にもなる予定です。
今後もこの施設を有効に使い、リサイクルの回収強化に努めます。



クリーンDAYの実施

毎月の最後の金曜日に、近隣の道路などで美化活動を行っています。エコタウン周辺の美化活動を行うことでエコタウンのイメージが少しでもよくなればと社員一人一人が真剣に清掃活動を行っています。

今後もエコタウンの一員として美化活動に積極的に取り組み、環境保全を推進してまいります。



植樹祭への参加

毎年の恒例となった、『堺7-3区』で行われている植樹祭に参加しました。

この植樹祭は自然の力で長い期間をかけ、自然環境を創出しようというコンセプトのもと行われているものです。

最近では、植樹した木々が立派になっているところも見受けられ自然の力をすごく感じることができるお祭りです。



10) 環境活動のあしあと

エコドライブのお願い

弊社の従業員、乗務員によりご搬入いただいたお客様にエコドライブのお願いチラシを配布しました。

弊社だけでなくお客様にもふんわりアクセル、アイドリングストップを励行いただき地球にやさしい会社を目指します。



緑豊かな事業所を目指して

グループの再生プラスチック製品である『ジュリプラス』をフル活用して、素敵なベンチと花壇のある休憩所を作りました。

春や秋などの気候の良い季節には、休憩時間にたくさんの従業員がほっこりできる憩いの場所です。

弊社に立ち寄られた際はぜひご利用ください。



エコ豆知識

ジュリプラスとは？

容器包装リサイクル法の「その他のプラスチック類」を選別し、その中のポリオレフィン系樹脂を主原料に押し出し成型したものです。

角材は大型の製品もあり、最大で太さ105mm角、長さ3メートルという大物まであります。



11) 終わりにあたって

平素は皆様からひとかならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度よりRAC事業所とBE事業所のふたつの事業所でバラバラに認証取得していたEA21を『株式会社DINS堺』として統合し新たなスタートを切ることが出来ました。

弊社のレベルで行うことができる精一杯の環境活動を行うことができました。周知の面では本当に苦勞する点多々ありましたが、ふたつの事業所従業員が力を合わせることで今後も何かしらの化学反応が起こればと…楽しみに今までもこれからも先頭に立って環境活動を推進して参ります。

次回はさらに良い報告ができるよう環境管理活動を推進して参ります。

最後までご高覧いただき本当にありがとうございました。

平成26年6月1日

株式会社DINS堺

代表取締役 植阪 良樹

次回環境活動レポートは平成27年6月発行予定です。